

「ドゥシャンベ市第14保健所医療機材整備計画」 引渡式

8月11日、「草の根無償資金協力」によりドゥシャンベ市第14保健所に整備された医療機材の引渡式が行われました。引渡式には、タジキスタンを訪問中の英利アルフィヤ外務大臣政務官、古田駐タジキスタン大使、ソビルゾダ・ドゥシャンベ市保健局副局長及びハミドゾダ保健所所長らが出席しました。

本計画で我が国政府が352,530米ドルをドゥシャンベ市第14保健所に供与し、日本製のデジタルX線蛍光透視鏡機器3台が整備されたことにより、より質の高い診断が可能となるとともに、市民の医療サービスへのアクセスも改善されました。

英利政務官は引渡式の挨拶で、保健・医療分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、ソビルゾダ副局長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根無償資金協力として合計474件、総額約3,997万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

